

学認クラウドゲートウェイサービス(2)

活用事例 － AWSコンソールSSOの実際 －

2020年6月9日

国立情報学研究所
クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室

小林 久美子

1. はじめに
2. 利用の前提条件
3. AWSマネジメントコンソールへのSSOの実装
 - (1) 手順
 - (2) 実装
 - (3) 注意事項
4. まとめ

1. はじめに

- AWS連携機能：AWSマネジメントコンソールへのSSO
学認クラウドゲートウェイサービス（以下、ゲートウェイサービス）に
登録されているAWSマネジメントコンソールSPコネクタに利用グループ
を接続



ゲートウェイサービス経由でAWSマネジメントコンソールに学認のIDで
ログインできるようになる

設定手順詳細：<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/9Yp6Ag>

※設定手順詳細で「グループ」と記載しているものは、ゲートウェイサー
ビスグループ機能で提供されるグループを指している。AWSマネジメント
コンソール上で作成したグループとは異なる。



2. 利用の前提条件

- (1) AWSマネジメントコンソールはすでに利用可能な状態で契約されていること。
- (2) 現在「ベータ版」のため、利用できるのはゲートウェイサービス参加機関のみ。
- (3) ゲートウェイサービスを介してその先のSPへログインするという性質上、各機関IdP所管部署の了解を得られた場合のみ提供される。

- ※以下の場合には[ゲートウェイサービスお問い合わせ先](#)に連絡
- ・ 所属機関から了解を得られているか不明。
 - ・ IdP所管部署の方が了解を与えたい。

3. AWSマネジメントコンソールへのSSOの実装(1)



■ 手順

「[ゲートウェイサービスからAWSマネジメントコンソールへシングルサインオンするための情報](#)」をもとに、AWSアカウント管理者(A)とグループ管理者(G)が以下を行うことで、ゲートウェイサービスからAWSマネジメントコンソールへSSOできるようになる。

(1) AWSマネジメントコンソールの設定(A)

ゲートウェイサービスと連携するための設定。

ログインしたユーザに付与する権限の設定。

(2) グループの作成とメンバーの招待（すでにある場合は省略）(G) AWSマネジメントコンソールSPコネクタを接続するグループ。

(3) グループをAWSマネジメントコンソールSPコネクタに接続(G) グループの利用Webサービスに「AWS Management Console」を追加。

4. AWSマネジメントコンソールへのSSOの実装(2)

■ 実装[1]

AWSアカウントのユーザに設定されているポリシー

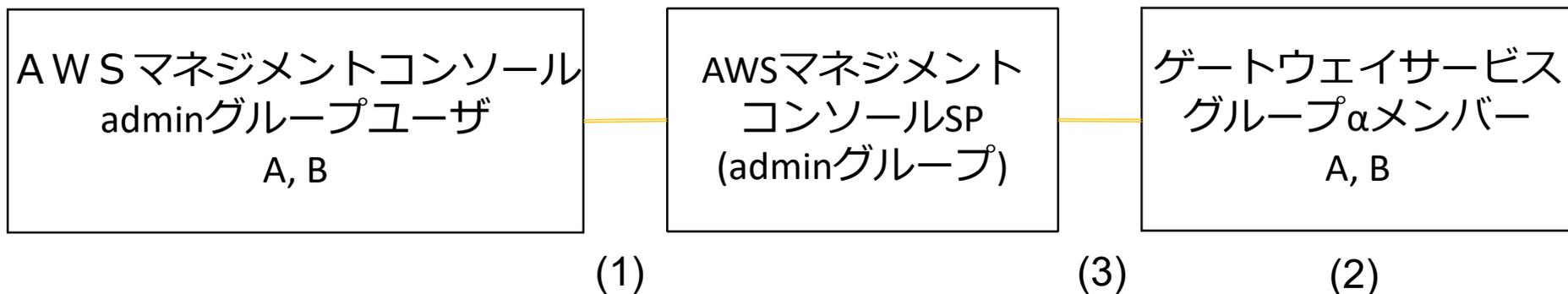
- adminグループのユーザ(A, B)
AdministratorAccess, IAMUserChangePassword
- userグループのユーザ(C, D, E)
IAMFullAccess, PowerUserAccess, IAMUserChangePassword

今回、AWSアカウント管理者とグループ管理者は同一。

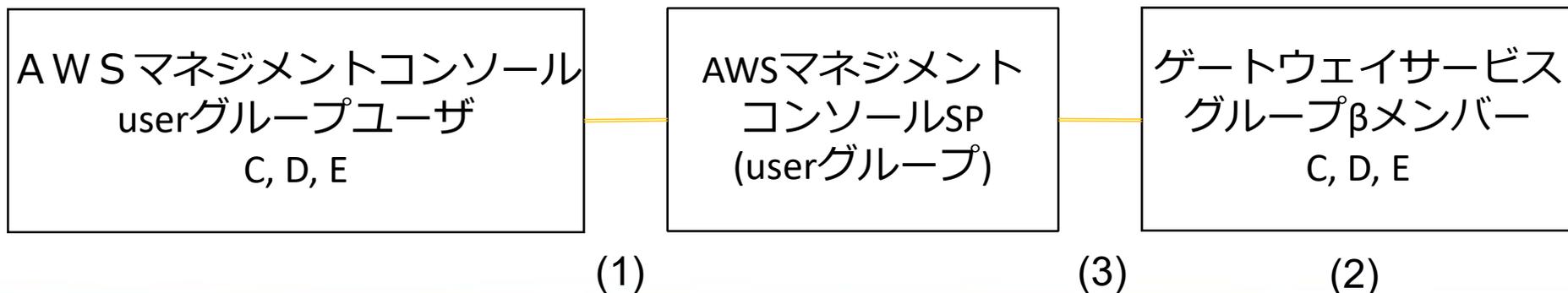
4. AWSマネジメントコンソールへのSSOの実装(3)

■実装[2]

新しいグループ α を作成し、adminグループのユーザがSSOできるようにした。



userグループのユーザもSSOできるようにするには、別のグループを作成する。



3. AWSマネジメントコンソールへのSSOの実装(4)



■ 注意事項

権限ポリシーの選択や利用グループが適切に設定されない場合、以下のような事故が発生しうる可能性がある。十分に注意した上で設定を行うこと。

- ・ 意図しない権限がメンバーに付与される
- ・ 意図しない者にAWSマネジメントコンソールが利用される

NGの例：

- ・ AWSのuserグループユーザ用の(1)の設定で、adminユーザのポリシーを設定する。
- ・ ユーザCをグループ α のメンバーに招待する。

※設定の不備等による一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4. まとめ

- (1) ゲートウェイサービスのAWS連携機能を利用して、AWS マネジメントコンソールへのSSOを実装した。
- (2) 本機能を利用するとゲートウェイサービスを介してAWS マネジメントコンソールへアクセスできるので、非常に便利である。
- (3) 権限ポリシーの選択や利用グループが適切に設定されない場合、意図しない権限がメンバーに付与されたり、意図しない者にAWSマネジメントコンソールが利用されるなどの事故が発生しうる可能性があるため、十分に注意した上で設定を行う必要がある。



<https://cloud.gakunin.jp/>

学認クラウド

検索